

「新たな鎌倉市総合計画について(答申)」に向けた委員意見一覧(事前御提出分)

	意見表題	意見詳細	市の見解
1	基本目標 「産み、育てるまち」	安心して出産、子育てのできる環境を整える為の重要な目標ではあるが、「誰もが育ちあうまち」「すべての人の生き方を尊重するまち」など多様性を尊重する姿勢をとりいれたほうがよいのか?という意見です。個人的には安心して出産できる環境が整ったまちであってほしいと考える。	御意見は今後作成する本市の総合戦略に関するものであるため、今回の答申には盛り込みませんが、総合戦略の作成に当たっての重要な視点として受け止め、今後の作成を進めてまいります。
2	総合計画実施に関して	亀山委員の答申に書いておられたように、行政担当部署間での意思疎通を深め、総合計画の考え方や目標を理解したうえで、連携して行政財政運営にあたっていただくことが最も重要であると考えます。	答申案「Ⅰ. 新総合計画の推進」の中で、御指摘の視点を盛り込みます。
3	子育て・市民一般	多様な他者を理解し、尊重する社会の実現するためには、多様性自然に受け入れられるような教育的支援の充実が不可欠です。また、異なる世代が交流できる居場所づくりなど、誰もが安心して過ごせる環境の整備を進めていくことを要望いたします。	御意見は個別施策に関する御意見であるため、総合計画全体の答申には馴染まないと考えます。 なお、御意見の視点は、「2-2 こども・若者」施策の主な取組「④ こども・若者一人ひとりが安心して過ごせる居場所や体験を行う機会を創出します」に盛り込んでいます。
4	委員意見への対応について	審議の過程で各委員がそれぞれの立場から出された意見や提案の主旨を尊重し、今後の市の具体的な取組みを進める中で適切に対応していただくよう要望します。 (これまで総計審の審議の過程で各委員から様々な意見が出されました。特に、第3回審議会において、新たな総合計画に位置付ける主力施策について 意見交換がなされ、教育・子育て・農業・防犯防災・地域福祉・観光・市民 活動・産業振興などについて、各委員がそれぞれの立場から貴重な意見を述べられていました。 これら委員の意見は、総合計画には詳細には反映されるものではないことから、総合計画の下位計画として位置付けられる個別計画の実施にあたり、意見の主旨を可能な限り尊重した取組みを進めていただきたいと思います。)	答申案「Ⅰ. 新総合計画の推進」の中で、御指摘の視点を盛り込みます。
5	筋の通った内容を心掛け網羅的内容を避ける件について	せっかくリーディングプロジェクトを策定したので、それを中心に関連する鎌倉らしい重点課題(例えば 歴史、文化、観光、etc)に言及することが好ましい。例えば「産業の活性化」のような件は凡そ鎌倉らしく無く、他のどの都市でも言いそうなことである。網羅しなくてはいけないという考えは避けてほしい。	答申案本文中で、御指摘の視点を盛り込みます。

	意見表題	意見詳細	市の見解
6	5月30日に話題となった、答申のページ数についての件	答申はA4サイズ1ページが好ましいと思う。長くなればなるほど漫然とした表現となり焦点がぼやける。	答申案を踏まえて御議論をお願いします。
7	その他	市庁舎移転問題は総合計画に何らかの影響があると思われる。どう表現するかは別として答申には言及が必要なのではないか。	御意見は個別施策に関する御意見であるため、総合計画全体の答申には馴染まないと考えます。
8	18pの2-2こども・若者 「主な取り組みの中で③様々な困難な状況を抱えるこども・若者のニーズに応じた支援を充実する」に該当	・障害、虐待、ヤングケアラーに関する記載がありますが、「貧困」について語られている場所がありましたか？ 近年、大学生でも就学支援制度が整備されているとは言え、大学の学費が高すぎて、入学や継続を断念するケースが増えています。また、経済的貧困故に、アルバイトに時間が割かれ、大学生生活を十分に満喫できない状況も常態化しています。 この施策の中に、一言でも「貧困」への支援が記載されていれば問題ありません。	御意見は個別施策に関する御意見であるため、総合計画全体の答申には馴染まないと考えます。 なお、御意見を踏まえ、「2-2 こども・若者」施策の主な取組「③ 様々な困難を抱えるこども・若者のニーズに応じた支援を行います」を修正しました。
9	18p2-2こども・若者 ③または④に該当	・また、家庭で不適切な養育を受けているこどもの問題も潜在しています。不登校の中には、親から過度な教育課題を強いられる、いわゆる教育虐待を受け続け、学びの意欲が無くなった児童にも、安心して過ごすことのできる居場所の確保にも少し言及できるでしょうか。 その点を、本日発言しようと思っておりました。 もし議論が尽くされているのであれば、ご放念ください。	御意見は個別施策に関する御意見であるため、総合計画全体の答申には馴染まないと考えます。 なお、御意見の視点は、「2-2 こども・若者」施策の主な取組「④ こども・若者一人ひとりが安心して過ごせる居場所や体験を行う機会を創出します」に盛り込んでいます。
10	地方創生総合戦略(資料8)	鎌倉市まち・ひと・しごと創生総合戦略2030の全体像では、国の指標をもとに4つの基本目標を設定しているため、「産み、育てるまち」という目標項目が挙げられたと思います。会議では、意見が出ていましたが、魅力ある地域作りの基本目標として、市が掲げる「(安心して)産み、(楽しく)育てるまち」のような目標は、合って良いと思います。 ただし、「総合戦略」との絡みで言えば、2-4教育①ワクワクして未来を創る学びを生み出す。《その他の取組》②こども・若者・子育て当事者の状況に応じた必要な支援を切れ目なく行う、が紐付いてくるのだと思います。 また、福祉、防災といった項目も、当然含まれると思われます。 今回の資料⑧については、今後も議論されるところでしょうか。	御意見は今後作成する本市の総合戦略に関するものであるため、今回の答申には盛り込みませんが、総合戦略の作成に当たっての重要な視点として受け止め、今後の作成を進めてまいります。
11	個別分野の基本計画への反映について	総合計画では、環境政策や都市計画の大きな方向性を示すことができた。この方向性に基づき、個別分野の基本計画（都市計画マスタープラン、緑の基本計画、地球温暖化対策計画等）の内容を発展させ、総合計画の実現に注力して頂きたい。	答申案「1. 新総合計画の推進」の中で、御指摘の視点を盛り込みます。

	意見表題	意見詳細	市の見解
12	SDGsの反映について	持続可能な開発目標（SDGs）の総合計画への反映については、これまで一定の議論を行い、17ある目標それぞれの視点から市の施策に不足している視点を探索するための「チェックツール」として用いることと整理し、資料編に「施策とSDGs」と題した表を掲載している。他方で、この表の具体的な活用に向けては、職員研修などを通じて17目標がもたらす多様な視点を職員が理解し、複雑化する公共的問題の解決に向けた部署横断的に施策の検討を行えるように、組織内における政策形成の仕組みを整えることにも留意されたい。	答申案「2. SDGsの反映」の中で、御指摘の視点を盛り込みます。